

※これは申告書の控です (控の送付は收受の事実を確認するものであり、内容を証明するものではありません)

★国外居住者を扶養控除等の対象とする場合は、「親族関係書類」および「送金関係書類」(これらの書類が外国語で記載されている場合は、日本語の翻訳文を含む。)の添付が必要です。

③ 所得から差し引く金額(その2)

本人控除		寡婦	ひとり親	勤労学生(証明書添付)
障害者控除(証明書等添付)★	身体(精神) 級 / 障害者認定	死別・離別・生死不明	○	学校名
愛(療育) 度 / 成年被後見	事由発生 昭・平・令 年 月			

配偶者控除(同一生計配偶者含む) ※申告者の前年中の合計所得が1,000万円を超えていても、配偶者の合計所得が48万円以下の場合、記入してください。

(控除)対象者	氏名・個人番号	続柄	生年月日	障害の程度(証明書添付)☆	区分	別居の場合の住所★ 1/1 現在お住まいの住所
氏名		配偶者	1 明・2 大・3 昭・4 平	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	

配偶者特別控除 ※申告者の前年中の合計所得が1,000万円以下で、配偶者の合計所得が48万円超133万円以下の場合、記入してください。合計所得の算出方法は手引き(所得の速算表)を参照してください。



扶養控除

控除対象者	氏名・個人番号	続柄	生年月日	障害の程度(証明書添付)☆	区分	別居の場合の住所★ 1/1 現在お住まいの住所
氏名			1 明・2 大・3 昭・4 平	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	
氏名			1 明・2 大・3 昭・4 平	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	
氏名			1 明・2 大・3 昭・4 平	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	

※16歳未満の扶養親族(平成18年1月2日以降生)は以下に記入してください。(控除対象外)

16歳未満	氏名・個人番号	続柄	生年月日	障害の程度(証明書添付)☆	区分	別居の場合の住所★ 1/1 現在お住まいの住所
氏名			平成・令和	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	
氏名			平成・令和	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	
氏名			平成・令和	身体(精神) 級 / 愛(療育) 度 / 障害者認定 / 成年被後見	同居	
個人番号					別居	

④ 所得から差し引く金額(合計額) ※②、③の「所得から差し引く金額」に記入された場合は、④所得から差し引く金額(合計額)への記入は不要です。

⑤ 税額控除

住宅ローン控除に関する事項 (年末調整済の源泉徴収票添付)						
所得税の住宅ローン控除を受ける住宅等の区分	居住開始年月日	所得税の住宅借入金等特別控除可能額	所得税の住宅借入金等特別控除額	特定取得	特別特定取得	
新築又は購入	平成 年 月 日		円	○	○	
増改築等	平成 年 月 日		円			

寄附金に関する事項 (証明書原本添付) *

都道府県、区市町村分(ふるさと納税) ※特例控除対象	㊦	円	配当割額または株式等譲渡所得割額の控除に関する事項 (住民税が源泉徴収されている明細書添付) *
東京都共同募金会、日本赤十字社東京都支部、都道府県、区市町村分※特例控除対象以外	㊧	円	
条例指定分	東京都	㊨	円
	練馬区	㊩	円
			配当割額控除額 円
			株式等譲渡所得割額控除額 円

10 分離譲渡・分離配当・山林・退職所得に関する事項	*	A 収入金額	B 必要経費	C 特別控除	D 青色申告特別控除	A-B-C-D
分離短期譲渡(一般・軽減)						
分離長期譲渡(一般・特定・軽減)						
株式等譲渡(一般・上場)・分離配当・先物取引・山林・退職		円	円	円	円	円

令和4年度(2022年度) 特別区民税・都民税申告書 控

控

<控えの必要な方へ>複写ではありませんので、申告書と同じ内容を書いてください。個人番号は記入しないでください。

区受付印	氏名	生年月日	現在の住所
		明・大・昭・平・令	

① 所得金額

※収入(所得)がなかった方は裏面1を記入してください。※添付書類は申告書に、ホチキス留めしてください。(のり付け不可)

前年中(1月1日から12月31日)の状況について	A 収入金額	B 必要経費	所得金額(A-B)
給与(源泉徴収票添付)	※源泉徴収票の支払金額(複数ある場合は合計)を右の㉑に記入してください。※源泉徴収票がない場合は裏面2の給与明細を記入し、合計を右の㉑に記入してください。		給与収入 ㉑ 円
公的年金等(源泉徴収票添付)	※遺族・障害年金等は記入せず、裏面1の㉒に記入してください。※公的年金等の源泉徴収票の支払金額(複数ある場合は合計)を右の㉒に記入してください。		公的年金等収入 ㉒ 円
雑所得(業務)			① 円
雑所得(その他)			② 円
営業等		青色申告特別控除 円	③ 円
不動産		青色申告特別控除 円	④ 円
配当(総合) ※裏面5も記入してください。			⑤ 円
総合譲渡(短期・長期)・一時 ※該当に○を付けてください。		特別控除 円	⑥ (長期+一時)×1/2+短期 円*
農業		青色申告特別控除 円	㉗ 円
利子 ※裏面5も記入してください。			① 円*
※分離譲渡所得等を申告する方は裏面10に記入してください。		練馬区記入欄→	㉘ 円

② 所得から差し引く金額(その1)

※d欄には、10万円が所得の合計額×5%のいずれか少ないほうを記入してください。セルフメディケーション税制を選択した場合は1,200円を記入し、区分に○をつけてください。

医療費控除(明細書添付)	a.支払った医療費等 円	b.補てんされる金額 円	c.差引金額(a-b) 円	d.※ 円	※区分 ○	控除金額(c-d) ㉙ 円	
社会保険料控除	e.国保・後期高齢者医療・介護保険料支払額 円	f.国民年金等支払額(証明書原本添付) 円	g.源泉徴収票の社会保険料控除額 円			控除金額(e+f+g) ㉚ 円	
小規模企業共済等掛金控除(証明書原本添付)	『小規模企業共済等掛金』『確定拠出年金加入者掛金(個人型・企業型)』『心身障害者扶養共済掛金』の合計額					㉛ 円	
生命保険料控除(証明書原本添付)	新一般生命保険支払額 円	新個人年金保険支払額 円	介護医療保険支払額 円			円	
	旧一般生命保険支払額 円	旧個人年金保険支払額 円	源泉徴収票の生命保険料控除額 円			円	
地震保険料控除(証明書原本添付)	地震保険支払額 円	旧長期損害保険支払額 円	源泉徴収票の地震保険料控除額 円			円	
雑損控除(証明書原本添付)	損害の原因	損害年月日	h.損害金額 円	i.補てんされる金額 円	差引損失額(h-i) 円	差引損失額のうち災害関連支出の金額 円	控除金額 ㉜ 円*

返信用封筒がない場合は返送できません。郵送される方で、控の必要な方は、宛名を記入して切手を貼付した返信用封筒を同封してください。

※これは申告書の控です (控の送付は收受の事実を確認するものであり、内容を証明するものではありません)

1 令和3年中に収入(所得)がなかった方の記入欄(申出書)

非課税証明書の交付を受ける場合には、住民税の申告が必要です。また、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料等は、住民税の申告内容に基づき算定されますので、前年中に収入(所得)がなかった場合でも、該当項目に☑を入れ必要事項を記入してください。

① 下記の人(親族等)に扶養または援助されていた。
【続柄】 配偶者 親 その他()
【氏名】 【住所】 同居 別居(現住所記入)

② 雇用保険(失業給付・育児休業給付)を 年 月から[ア 年 月]まで受けていた。/イ 受給中である。]

③ (遺族年金)・(障害年金)・(その他) ()の給付を受けていた。(該当に○をつけてください)

④ 生活扶助を 年 月から[ア 年 月]まで受けていた。/イ 受給中である。]

⑤ 預貯金で生活していた。

⑥ その他(具体的に記入してください。) ※アルバイト収入等があった方はこの欄に記入せず、源泉徴収票を添付するか下記2に記入してください。

点線以下、申告書裏面記載内容

9 所得金額調整控除に関する事項 *

給与収入が850万円を超える方で、つぎのいずれかに該当する場合 ①本人が特別障害者 ②23歳未満の扶養親族を有する ③特別障害者である同一生計配偶者または扶養親族を有する ※②と③は夫婦等で重複適用が可能です。

氏名	続柄	生年月日
		明・大・昭・平・令
個人番号		
特別障害者に該当する場合(証明書添付)☆	別居の場合の住所★(1/1 現在お住まいの住所)	
身体(精神) 級		
愛(療育) 度		
障害者認定	成年被後見	